



ほんなこて ゆたたり

校訓 みつめあい、学びあい、みがきあい

文責 校長 熊本 万里子

【令和7年度学校教育目標】
大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

—令和7年度修了式—

令和7年度は全校児童200人でスタートした多良小でしたが、転出があり最終的には199人となりました。先日の卒業式で6年生が学校を去り、本日164人で今年度の修了式を行いました。体育館にそろった児童たちは今年度の最終日という意識をもったのか、緊張した空気感がただよっていました。特に5年生は、リーダーとなり引き締まった表情がとても素敵でした。



あっという間の一年でしたが、子どもたちは様々な活動を学級の仲間と、学校の先輩や下級生と行いながら、とことん学び続け、とことん学び合いしっかり成長しています。本日配布した「ゆたたり」には、子どもたちの日々を担任が見取り所見に表しています。少し紹介しますと

- ・学級の仕事で「先生、それ私がしましょうか。」と進んで取り組む姿がありました。
- ・給食を食べている友達を「もう少しやん。」と励ますことができるようになりました。
- ・けがをした人がいると「僕が保健室に連れていきます。」と手助けをしていました。
- ・分からないことやできないことがあっても、こつこつと取り組む姿勢が見られました。
- ・学習のめあてに向かって粘り強く取り組み、努力を重ねることができました。
- ・周りに気を配りながら、てきぱきと仕事をしていました。

日々のやり取りの中で見られた子どもの良さや素敵な場面が目には浮かぶようです。学校では、先生たちが社会で生きてために必要な学習内容や生活習慣を身に付けられるようにと援助しますが、子ども自身がそれを身に付けようとしないうちに、身に付けることはできません。逆に、身に付けようと頑張る子どもは教員が伝えようとしたこと以上に習得し、成長していきます。時間経過とともに、この二者には大きな差がでてきます。多良っ子のみんなが、しっかりその学年でがんばり前進していってくれることを期待して、2027年度の締めくくりとします。

保護者の皆様、地域の皆様、今年一年間ありがとうございました。



—お世話になりました—

令和7年度末の人事異動により、6名が異動となりました。今年一年間、共に多良小の子どもたちの成長を見守り尽力されました。本当にお世話になりました。この多良小学校で培った力を新天地でも存分に発揮してさらに成長し、活躍してくれることを願っています。保護者様や地域の皆様には、これまで支えていただき感謝申し上げます。

この部分は、個人情報につき、掲載を差し控えます。

辞任式では、転任される先生方から多良小学校での思い出や多良小の子どもたちへの思いが伝えられました。子どもたちは真剣に、先生方の話に耳を傾けて聞くことができていました。先生方のメッセージをしっかり受け止められたことと思います。そして、代表の児童が感謝の気持ちを言葉にして伝えました。さらに、花束隊が転出される先生方一人一人に言葉を添えて花束を贈りました。最後には、全員で「校歌とさようなら」を歌いお別れをしました。別れは寂しいものですが、その一つ一つが子どもたちの

心を成長させてくれる大切な経験でもあります。一緒に多良小学校で過ごした日々を胸に、先生方も子どもたちも、それぞれの場所で新たな一歩を踏み出していってくれることと思います。

